

令和4年度 全国学力・学習状況調査 指導方法等の改善計画

呉市立荘山田小学校
(片山中学校区)

全国平均値との差

	国語	算数	理科
呉市教育振興基本計画〈指標〉	+6.0	+5.0	
令和8年度	—	—	—
令和7年度	—	—	—
令和6年度	—	—	—
令和5年度	—	—	—
令和4年度	-2.6	-5.2	-2.3

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎…各学校 ◇…中学校区

<p>国語</p> <p>本校 63 % 全国 65.6 % 県 67 %</p>	<p>重点課題</p> <p>◎複数の条件に合わせて、自分の考えを書くことに課題がある。 (設問2二 平均正答率 67.2%) (設問3二 37.7%) 【書くこと】 ◇自分の考えを書くことに課題がある。【書くこと】</p> <p>改善の方策</p> <p>◎単元テストにある活用問題を使い、条件に合わせて文章を書かせる指導を行う。ただ書かせるだけでなく、書いたものを読み直し、文章を推敲させる指導を充実させる。 ◇文章を書く際は、与えられた条件を満たして書くように指導をする。</p> <p>検証</p> <p>◎全国学力 設問2二 (第6学年, 2月) 目標 80%→結果 % (第5学年, 2月) 目標 70%→結果 % 全国学力 設問2二類似問題 (第5学年, 12月) 目標 60%→結果 % (第4学年, 2月) 目標 50%→結果 % ◇学年末テスト活用問題 (全学年) 目標 50%以上→結果 %</p>
<p>算数</p> <p>本校 58 % 全国 63.2 % 県 64 %</p>	<p>重点課題</p> <p>◎問題場面のイメージができず、問題の読み取り、把握が難しい。(設問3(2) 平均正答率 50.8% 設問4(4) 44.3%) 【データの活用】 ◎算数用語の意味を理解できていなかったり、間違えて捉えていたりする。 (設問2(3) 平均正答率 11.5%) 【変化と関係】 ◇与えられた図やデータを、適切に読み取ったり、正しく判断したりすること課題がある。【データの活用】</p> <p>改善の方策</p> <p>◎単元でつけなければならない力を明確にし、そのゴールの達成を意識した適応問題を用意し、学習内容の定着を図る。 ◎大切な算数用語を掲示物で示し、常時確認できるようにする。日々の授業の中で算数用語を使った説明をさせる。 ◇数学的な表現を用いて説明する活動を増やしていく。</p> <p>検証</p> <p>◎◇全国学力 (設問2(3) 設問3(2) 設問4(4)) の類似問題 (第6学年, 2月) 目標 70%→結果 % (第5学年, 2月) 目標 60%→結果 % ◎「図形」単元テスト (活用力を見る問題) 全学年目標 60%→結果 %</p>
<p>理科</p> <p>本校 61 % 全国 63.3 % 県 66 %</p>	<p>重点課題</p> <p>◎観察、実験などを通して得られた科学的な言葉や概念を基に、資料活用問題や記述問題を解答できていない。(設問2(3) 全国との差-15.3) ◇資料を活用して答える問題に課題がある。</p> <p>改善の方策</p> <p>◎児童の気付きや疑問が、観察・実験などを通して解決できる問題となるために、何をどのように調べたいのか明確にし、考察として学びを振り返る場を積み重ねる。 ◎理科の用語や科学的な見方・考え方をキーワードで示す。 ◇知識・技能を活用する問題に取り組む。</p> <p>検証</p> <p>◎◇全国学力 設問2(3) (第6学年, 2月) 目標 70%→結果 % (第5学年, 2月) 目標 60%→結果 % ◎全国学力 設問3 (第6学年, 2月) 目標 80%→結果 % (第5学年, 2月) 目標 70%→結果 % (第3・4学年, 2月) 目標 60%→結果 %</p>

【来年度に向けて】